

三原市立本郷中学校 令和5年度 学校教育全体計画

1 <学校教育目標>

自律の精神の確立と主体的に学ぶ生徒の育成

- 自律 ⇒ 社会のルールに則って、自らの発言や行動を適切に律すること。
- 主体的 ⇒ 自分の意志・判断に基づいて行動するさま。

2 <学校経営方針>

【ミッション】(自校の使命)

社会のために役立つ志を抱く生徒の育成

【ビジョン】(自校の将来像)

生徒が、安全で安心して有意義に過ごせて、社会人としての資質・能力を身に付けられる学校

○安全で安心して ⇒ 嫌な思いをしないで、心配事もなく、学校生活が送れる。

嫌なことがあっても、みんなできちんと解決できる。

自分の思いや考えを安心して表現できる。

○有意義に過ごせて ⇒ 授業を受けて、「わかる」「できる」を実感して楽しいと思う。仲間と共に、学校行事・部活動を行い、「達成感」「充実感」を感じて楽しいと思う。

○社会人としての資質・能力 ⇒ 知識・技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力・人間性等

3 <めざす学校像>

- ・安全で安心して有意義に過ごせる学校
- ・笑顔を忘れず、明るく温かく人に接し、「ありがとう」があふれる学校
- ・夢を志に高める学校
- ・自信を持ち光り輝いて行動し、活力のある学校

4 <めざす生徒像>

- ・何事にも果敢に挑戦し、わからなくてもできなくても粘り強く取り組み、最後まで諦めない生徒
- ・誰にでも明るく笑顔で接し、心温かく行動する生徒
- ・夢を志に高める生徒
- ・自分に自信を持ち、主体的に行動し、光り輝く生徒

【育成をめざす資質・能力】

知識及び技能、思考力、コミュニケーション能力、主体性、自らへの自信

5 <めざす教職員像>

- ・生徒に、少しでも「わかる」「できる」を実感させるため、常に思考して積極的に授業改善を行う教職員
- ・豊かな人間性と高い倫理観を備え、教育実践に努める教職員
- ・志を高く持ち、達成に向けて自分の強みを生かし果敢に挑戦し続ける教職員
- ・やりたいこと、できること、すべきことを統合し、生きがいを持って職務にあたる教職員

6 <令和5年度の重点>

- (1) 学校生活全般での積極的な生徒指導

①生活三訓の徹底

- 「挨拶をしよう」 → レベル3（自分から会釈して）
授業の始め終わり（先言後礼）
- 「時間を守ろう」 → 朝遅刻ゼロ
着ベル（教師は鳴る前に教室へ）
全校朝会（無言集合）
- 「身辺服装を整えよう」 → 自転車置き場「日本一」
靴箱 ロッカー トイレのスリッパ
定期的な身なり検査

②学習規律の徹底

- 「黙想」の徹底 → 立腰をさせる。粘り強く指導。
- 「学習態度」の指導 → 寝る・伏せる・肘をつく・私語

③自治活動の推進

- 「生徒会活動」の活性化 → 挨拶運動
自律的点検活動（勉強時間・スリッパ・牛乳・・・）
- 「ボランティア活動」への参加 → 献血・河川清掃・小中合同地域清掃・・・

【1校1貢献】

- ④相談活動の推進 → 学期毎のいじめアンケート実施後、担任と面談時間の確保。
スクールカウンセラーの講話・個人面談。
- ⑤組織的な生徒指導体制の徹底 → 生徒指導主事に情報を集め、組織として方向性を確認し指導する。
- ⑥集団づくりの推進 → 互いに認め合い、高め合う学級・学校集団づくり。

(2) 授業改善の推進による学習指導

①「本郷中スタンダード」（授業モデル）の活用

- ・学習意欲を引き出す導入の工夫
・めあての提示（見通しをもたせる）
・教師の説明は少なくし、生徒の活動場面（書く場面・表現する場面・ペアや少人数グループ）を設定する。（めあてを達成させるために）
・めあてに対するまとめ（自分の言葉で表現）をする。

②「主体的な学び」の実施 → 「課題発見・解決学習」の実施・改善

③ ICT機器の活用 → クロームブックの効果的活用

④「家庭学習」の充実 → 「本GOノート」の効果的活用
90分以上の確保

⑤「研究授業」の実施 → 1人1研究授業（指導主事等の指導者招聘）

研究テーマは、「生徒の主体的な学びを生み出す授業

～問いを生み出す導入の工夫と振り返りの充実を通して～」